

あづみ野

第118号

平成18年1月16日発行


# まつかわ議会だより



初めて開催された中学生の子ども議会（10月25日議場）



## 主な内容

- 12月定例会と第2回臨時会……………2～3
- 議会活動……………4～5
- 村政をただす  〈11名が一般質問〉……6～13
- あれはどうなっているだい!?… 14

明けましておめでとうございます。昨年、開業90周年の信濃松川駅に特急の通年停車が実現し、また、小・中学生の議会が初めて開催、松川神社が戦後60年の記念事業を行うなどいろいろなことがありました。

また、国勢調査で村の人口が1万73人となり前回より372人増加しましたが日本の人口は1億2783万人をピークとして減少に転じた「転換点」の年でもありました。

当議会は3月24日で任期が終了となりますが、この間議会にお寄せ頂きました嬉しいご叱正・ご支援ご協力に對し心より感謝申し上げます。

村は「自立のむらづくり計画」の策定中であり、この方向で議会もともに一層努力を重ねてまいります。

村のますますの発展と村民各位のご健勝をご祈念申し上げ年頭のあいさつとします。

松川村議会

来年度に初めて

# 「村の年間行事カレンダー」を作成



## 12月定例会

傍聴席から見た議場

平成17年第4回定例会は、12月13日から22日までの会期でした。

(数字は万円未満四捨五入)

平成17年度一般会計補正予算ほか9議案が上程されいずれも可決しました。報告は陳情3件を採択、1件を趣旨採択し、また、議会の市町村合併等研究特別委員会で協議をしてきた議員定数削減など自立の取り組みとその経過など研究と検討を重ねてきたことについての報告をしました。(4ページ参照)

一般質問(6ページ参照)は、11名の議員が提言も交えて、幅広い視点で村政をただししました。

### 平成17年度一般会計補正予算

松川村土地開発公社が、上緑町工業団地造成事業を行うための借入金に対して、村でその債務の保証を、平成18年3月31日まで13億円を限度額として行い、用地買収・整地・道路・水路・調整池・消火栓などの造成事業を実施します。

歳入歳出から823万円減額する補正予算が提

出され、一般会計予算総額は歳入歳出それぞれ36億2711万円となります。

歳入の主なものは、地方交付税570万円と、法人村民税見込みで334万円、米の数量調整円

滑化推進事業補助金と強い農業づくり交付金合わせて224万円、村民からの寄付金などの増額と村債の減額などです。

歳入の主なものは、平成18年度に村の年間行事カレンダーを作成する費用および景観保全推進事業補助金など企画費に165万円・乳幼児診療費(村単)と老人診療費など扶助費に665万円・農業機械等購入補助金2

歳入の主なものは、平成18年度に村の年間行事

カレンダーを作成する費用および景観保全推進事業補助金など企画費に165万円・乳幼児診療費(村単)と老人診療費など扶助費に665万円・農業機械等購入補助金2

53万円・すずむし燃料費450万円など施設の燃料関係がそれぞれ追加・村営住宅などの火災警報器設置費用332万円・旧松香荘跡地南の健康広場トイレ撤去費・人件費削減などです。

### 長野県は81市町村 平成18年3月末

長野県市町村自治振興組合を組織する市町村数が、合併で平成18年3月

末には19市25町37村の81市町村になる事項の、議決をしました。

### 北アルプス広域連合規約を改正

平成18年1月1日に、八坂村と美麻村が大町市となる規約の変更と、4月1日から、大町市に平日夜間（午後7時から9時）の救急医療センターを設置・歯科医が当番で

休日診療を行う・障害者自立支援法に規定する判定を広域として取り扱う・合併後の広域市町村負担金の均等割り変更などについての規約改正が主なものです。

### 村長 あいさつ

議会冒頭に、「平成18年度予算編成では、経常経費先行で、

財源配分方式の取りまとめをしている。重点事業には増額もあるが、使用

### 地方自治及び町村監査に功績 丸山好衛議員が受賞



丸山議員

自治功労特別表彰を、それぞれ受賞しました。丸山議員は、昭和57年3月に村議会議員に初就任以来5期目となります。この間、一部事務組合監査委員を4年3カ月、現在は本村の議員選出監査委員を務めています。

料など一部は住民負担もある。厳しい財政状況へのご理解をいただくよう説明責任を果たしていく」

「今年の中信地区の水稲作況は昨年同のやや良103で、生産調整での作付け換算数量は、約5028ト。豊作で集荷円滑化対策が発動となり、3斗の米は市場と隔離。来年度の生産調整は全国・県ともに減となる中、北安曇地方事務所管内は2万605トの1トン増。村は水田農業ビジョン（案）で水稲生産率を80%（8000）と見込み、転

作物物の助成対象に果樹の新植など追加、団地化助成の拡充と、加工用米の価格補償増額をする」

「上緑町工業団地第1工区の土地売買契約調印式後に工事発注する。完成は今年秋頃。大きな面積を希望していた企業は取りやめとなった」

「子ども議会は、小学6年生114名・中学1年生111名で開催した」

などのあいさつがありました。

## 陳情

【採択】  
患者・国民負担増の中止と「保険で安心してかかる医療」を求める陳情書  
(公的医療保険で医療を保障し患者の負担増をしない要望)

個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書の採択についての陳情  
(国は国民の負担増を求める前に景気回復での税の自然増をはかり、不公平税制の是正を要望)

「高校改革プランの実施計画策定を先延ばしし、県民合意の高校改革をすすめることを求める意見書」採択を求める陳情書  
(現在の中学3年生の高校受験に影響がないように高校改革プランの実施計画は県民合意で十分に時間をかけて検討することを要望)

【趣旨採択】  
看護職員の大幅増員を求める陳情書  
(安全のコストも含めた増員の財政保障を求めている趣旨を採択)

平成17年  
第2回臨時会  
11月28日

### 条例改正 3議案を議決

一般職の職員の給与改正は、人事院勧告によるもので、村職員組合とは合意済みなど確認した上で議決。

10月31日に退職した職員の不祥事に対し、特別職が責任を取り、村長3カ月・助役1カ月・教育長2カ月の間それぞれ10%を減額する条例改正があり、議員の質問に「特別職の減額は責任の度合いでの処理」。今後「再発防止に万全を期する」とし、議会から「村が村民にきちんと説明責任を果たす」ことを確認して議決しました。

# 議会活動

次期選挙から議員定数を12人とす  
るなど、自立の村づくりを村と議会  
が一体となり進めています。今ま  
での研究の成果など委員会の報告を  
行いました。

## 松川村議会市町村 合併等研究特別委 員会報告（全文）

市町村合併問題は、  
松川村議会市町村合  
併等研究特別委員会  
で12回の会議を開催  
し、慎重に研究・検  
討をした結果、自立  
の道を選択し議決し  
ました。

行政は、『自立可能  
な村としての将来ビ  
ジョン ー村づくり  
戦略ー（案）』を策定  
し、17全区で延べ3  
80余名の住民に説  
明すると共に多くの  
ご意見をいただき、  
広報等で衆知を図り、  
自立に向け『自立の  
むらづくり計画策定  
委員会』を設置し計  
画の策定をご検討い  
ただいているところ  
です。

議会としてもさら  
に会議を重ね研究・  
検討をした結果、自  
立に向けて議員定数  
を16人から12人に、  
議員が係わる各種委  
員会報酬の全廃、議  
員報酬の8割減額、  
議員費用弁償の廃止、  
議員視察研修旅費の  
個人負担等、全体で  
約2150万円、25  
割の削減を図りまし  
た。

市町村合併等研究  
特別委員会の設置期  
間は議員の任期中と  
なっておりますが、  
松川村が自立の道を  
選択したことにより  
設置の役割は終了し  
たものと考えます。  
今後は、「自立のむ  
らづくり」に向かっ  
て行政・住民・議会  
が三位一体となつて  
邁進することを希望  
し、市町村合併等研  
究特別委員会の報告  
とします。

## 「自主財源確保に風力発電」 を研修視察

静岡県東伊豆町 総務常任委員会

6300で財政規模は約  
45億5000万円（内町  
税が22億6000万円）  
自町で賄えるお金が52  
である。

平成15年2月に住民投  
票で「自立」を決定し、  
その後、松川村と同様に  
「自立」に向けての施策  
として、8000万円の  
歳出削減策に取り組み、  
まず3役の報酬を20  
カットし、経常的経費、需  
用費などの削減を実施し  
ている。

特に消耗品で、1年間  
に使う量がわかつている  
物品は一括購入により、  
今までより  
3割もカッ  
トできたそ  
うである。

東伊豆町は「自立」  
を選択した町で、地球  
温暖化を深刻な問題と  
考え、二酸化炭素の削  
減と環境問題のシンボ  
ルとして「風力発電」  
をいち早く取り入れた  
町である。

現在、松川村でも新  
エネルギーの活用を模  
索している。

東伊豆町は人口が約1  
万5000人、世帯数が

000万円が入り、それ  
を「太陽光発電システム」  
設置費の補助に充ててい  
る。

町長は「昔は風が吹く  
と桶屋が儲かると言っ  
ていたが、今は町が儲か  
る。これからは、特徴ある自  
治体づくりと自前財源確  
保の時代だ」と笑って話  
をしていた。

町長の長期ビジョンに  
基づき、強いリーダーシ  
ップで動いている町であ  
り、松川村に今すぐ風力  
発電はできないにしても、  
新エネルギーの開発はや  
るべきであると感じた。



新エネルギーの風車をバックに

# 「自立推進のネックは職員の意識改革」 などを研修視察

と なみ あなみず  
富山県砺波市/石川県穴水町 社会文教常任委員会

広く人口減少状況を迎えるなか、少子化への先進的な取り組みで「子育て支援」を実施している行政及び自立の自治体づくり体制などを学び、議員活動に生かそうと考へ、先進地の研修視察を実施した。

## 砺波市

散居村・チューリップ球根・種籾と全国名水百選の清水・花祭りや全国に広く知られるチューリップフェアや、スイセン・

カンナ・コスモスなど年間18の祭りを開催するなど活気ある取り組みをしている、砺波市の、「子育て支援を中心とした行政の取り組み」を視察。子育て支援事業「高齢児童課」を設置し、幼児・児童・生徒の虐待及び不登校など幅広く対応。学校・教師・相談員・民生委員会・保育所などと連携して、ニーズに応える取り組みに感心した。

## 穴水町

人口は松川村と同規模行政改革推進室4名で自立の取り組み中。「効率的な行財政運営と住民サービスの向上を目指す」との基本理念。基本方針は

- 簡素でわかりやすい組織体制への再編整備
- 職員の意識改革と定数等の適正化
- 持続可能な財政基盤の確立
- 公の施設管理の効率化と経営改善

## まずは職員の意識改革

自立推進のネックは、職員の意識改革であると



穴水町の議長及び担当者

し、グループ制と職員提案制度導入・能力と成果を重視した登用・人事評価制度と昇任試験導入のため、職員研修制度を充実。歳入確保に向けての一例では、職員も駐車場1カ月5000円の利用者負担金を払うなどを実施。将来を見据えた計画的な、地域性を生かし住民の心を大切にした、あたたかい心のかような積極的な自立取り組みには学ぶものがあり、村での自立に対して良いものは取り入れていけるよう活動できる有意義な研修であった。

# 「農業の活性化」にむけ研修視察

## 愛知県大府市・安城市・美浜町

### 産業建設常任委員会

近年、生産者の顔が見える地産地消の推進が農業者の大きな課題となり、松川村でも各所に直売所が開設され村農業の活性化に大きく貢献している。19年の米改革大綱に向けさらなる充実を図るべく先進地への視察研修を行った。



安城市で研修

愛知県大府市「JAあぐりタウン・げんきの郷」産地直売り場面積は東海地区で最大規模の施設で、年商約27億円の

売り上げ。約5万2900平方メートルという広大な敷地面積の中に産地直売り場や温泉施設・レストランがメインで、主に5部門に分かれた複合施設年間客数63万人（産地直売り場）という驚異的実績は、名古屋市のベツドタウンと周辺郡部の商圏人口約200万人が見込める好立地によると思われる。

安城市の安城産業文化公園「デンパーク」全国の農業経営のモデルとなり、日本のデンマークと呼ばれる安城市の「デンパーク」の一角にある「JAあいち中央産直センター道の駅」は部会員310名の小さな道の駅だが活気があり、安城特産のいちじくでジャム・ワインなどに加工した物が売られている。



美浜町で施設を視察

美浜町の「ジョイフルファーム鶴の池」豊富な品揃いの直売所と、年間を通じて収穫できる体験農園を持つ農事組合法人。客に「自然とのふれあいを通して新鮮な野菜や果物を収穫したり、育てる喜びを体感してもらいたい」とを支援する「目的で、平成7年に農業構造改善事業の認定を受け設立された。ビニールハウス内での農産物直売は129名の組合員で行い、平成15年度売上は3億900万円と大きく、33万人利用の実績である。直売・体験農園・飲食事業・ふれあい事業を組み合わせた画期的な取り組みに、学ぶべきことが多く今後に活かしたい。

# 一般質問



# 村政をたぐす

＝11名の議員が質問＝

## 農業構造改革と投げられたボールをホームランにしたい

### 集落営農などでホームランの取組みをする

平林 昌彦議員

#### 農業経営所得の安定対策

**問** 経営所得安定対策などの大綱をどう評価しているか。

**答** 価格政策から所得政策への方向転換、全農家対象から担い手農家に絞られ、農業立村を進める中では厳しいと思う。

**問** 食料、農業、農村の三つの大綱が示され、農業が家業からビジネス視点に変わり、農業の構造改革というボールが投げられた。ホームランで打ち返し前進することが必要では。

**答** 80歳以上の兼業農家がある中で集落営農に取組んでいる。全部できるとは思わないが、一緒に知恵を出し合い、ホームランになる方向で進みたい。

**問** 資源環境保全対策は国の直接活動支援として

水田10アール当たり2200円出るが、この保全対策事業をどう進めるか。

**答** 国の予算が決まらない中、村で出すとはいえない。予算が示された時点で検討する。

#### 村農業における将来目標

**問** 松川村の農業の姿（2005センサス暫定版）をどのように分析し、農家懇談会の結果をどのように進めるか。

**答** 農業者が高齢化のため減少している。懇談会の出席者が少なく、国の政策の著しい変化に伴う理解ができない実情。小さな単位でのアンケートなど手法を検討する。

#### 調整配分の取組みは

**問** 平成18年度の米生産調整配分の取組みは、昨年と同じ配分で米を中心に作れるだけ作る。

**問** 松川村における米・果樹・花卉・野菜などの

将来目標は。

**答** 営農支援センターと農家の皆様との話し合いを進めたい。

#### 西部開発と国営公園と農業振興について

**問** 21むらづくり委員会で、西部開発・国営公園、農業・産業振興に関する答申を前村長に出してある。その提言の趣旨をどのように受け止めたか。

**答** 運営方法が見えないので再度検討をしてほしいと返した。

**問** 国営公園とあわせて西部の開発をし、村振興に生かしてほしい。

**答** 答申を受けて検討する。

**問** 食育基本法を村としてどう推進するか。生産調整対策のために地産地消及び食農教育推進を図り、学校給食を完全米飯給食にしてほしい。

**答** 地方公共団体の責務を明確にしながら取組んでいきたい。

**問** 県議会は議員提案で農業振興条例を制定する予定と聞く。村でも地場産業振興条例を村民参加のもと合意形成を得ながら進めないか。

**答** 県議会の条例を見ながら前向きに検討する。



楽しい学校給食風景（松川小学校）



倉科議員

白澤議員

矢口(弦)議員

宮崎議員

井川議員

平林(昌)議員



平林(寛)議員



矢口(八)議員



百瀬議員



森議員



佐藤議員

## 低所得者に介護保険の食費補助を 広域で負担の減免を考えている

井川 昶子議員

子育て支援と子どもを守る  
施策

問 松川村次世代育成支援  
対策行動計画が制定さ  
れたが、推進のために村  
民参加の協議会設置が必  
要となる。設置したか。  
答 まだしてない。

問 村の「子ども条例」  
は制定したか。  
答 まだ、できていない  
権利と義務が生じるので  
時間をかけて検討する。

問 中学生の子ども議会  
が開催された。先生・生  
徒の感想や評価と、行政  
に反映することは何か。  
答 「村長をはじめ、村の  
責任者から直接回答を聞  
くことができ良かった。  
また、常に良い村づくり  
に頑張っていることを感  
じた。必要があれば生徒  
も村づくりに協力した  
い」との声があった。

問 18年度では子育て支  
援策の充実をするとい  
さつしたが内容は。  
答 医療費無料化を中学  
3年生まで実施・不妊治  
療助成や学校備品などは  
特別枠で整備する。

問 子どもの命の安全対  
策は。  
答 児童・生徒の登下校  
時の安全には、小・中学  
校やPTA・社協ポラン  
ティアでの見回りに取組  
み、行政では青色回転灯  
車の巡回を検討中。

問 防犯灯の設置は十分  
か。

答 コミュニティー事業  
で区の要望のものは実施  
した。

高齢者福祉の前進を

問 介護保険制度の見直  
しで、村社協デイサービ  
スの食費が600円に上  
げられた。低所得者への  
補助はできないか。  
答 広域連合で、社会福  
祉法人などによる利用者  
負担減免に対する要綱を  
改正した。低所得  
者負担の減免を考  
えている。

問 地域包括支援  
センターが発足す  
る。高齢者の予防  
事業は向上するか。  
答 村在宅福祉係  
の中へ設立し、村  
内の65歳以上の2  
300人を対象と  
して予防政策を行  
い、介護保険事業  
から約1200万  
円の補助がある。

問 村が管理する住宅  
の家賃の見直しを  
問 村の管理する

住宅が築後の年数が経過  
している。家賃の見直し  
をしないか。  
答 村営住宅は見直しを  
行ったが、他の住宅はし  
ていない。制度の中で  
住宅事業であるが調査・  
検討をする。  
問 見直しをした市町村  
もあると聞くが。  
答 近傍類似もあるが、  
住宅ごとの比較や起債償  
還もあり難しい。



調査した資料を用意して具体的に要望する中学生議会

# 米政策の大改革に村の農業をどう守るか

## 村独自の集落営農を実行する

宮崎 弘議員

自治組合の未加入対策について

**問** 村のアパートが多くなり組合の未加入が急増行政にも村づくりに支障があるし、区は対応に苦慮しているが、村の対策はどうか。

**答** 未加入は200戸弱

である。区長会で実情や対策の意見交換をし、各区で対応していただいている。

**問** 村への転入届の受理のとき加入を促し、強制ではないが保証人制度を考えると、区にまかせるばかりでなく職員を区に派遣してはどうか。

**答** 転入時には加入を促すようお願いしている。保証人については実態調査をしたい。

**問** アパート業者・地主・管理者から入居者に対する加入指導をしてもらったらどうか。

**答** 開発行為のとき、地元区の意見が必要で加入が義務付けられている。村づくり条例では集合住宅の事業者は自治組合との協定を遵守することになっている。区とともに再度努力する。

**自立の村づくり計画策定委員会の中間答申**

**問** 村長は中間答申をどう受止め、どんな作業に取り組んでいるか。

**答** 各種の類似した委員

### 住民の期待に対応できる職員配置を 適性検査をして配置を考える

矢口 弦八郎議員

職員定数と配置について

**問** 職員の定数減について、自立の村づくり策定委員会で検討するのか。

**答** 検討している。

**問** 国では公務員の定数削減について打ち出しているが、地方への影響は

**答** 職員は住民100人に1人が適正と言われていたが、自立には80人としなければならない。

**問** 削減により職員負担

**答** 増加し、パート職員などでは限界がある。

**問** 住民に協力いただき、早めに80人体制にする。

**答** 職員の削減は住民サービスに影響する。自立の村づくりに盛り込み、経費の削減のみをするのは安易ではないか。福祉には増員が必要と思うが、確かに増員は必要。パート、臨時職員でも良いと思う。



住民の期待には職員の適性配置で応える

**問** 国では公務員の定数削減について打ち出しているが、地方への影響は

**答** 職員は住民100人に1人が適正と言われていたが、自立には80人としなければならない。

**問** 削減により職員負担

**答** 増加し、パート職員などでは限界がある。

**問** 住民に協力いただき、早めに80人体制にする。

**答** 職員の削減は住民サービスに影響する。自立の村づくりに盛り込み、経費の削減のみをするのは安易ではないか。福祉には増員が必要と思うが、確かに増員は必要。パート、臨時職員でも良いと思う。

**問** 住民の期待に対応す

**答** 増加し、パート職員などでは限界がある。

村人口の将来と考える

**問** 第5次総合計画後期5年の施策では人口の伸びを抑制するところがあるが、自立のビジョンの中では

**答** 目標を1万700人とし増加を考えている。この相違は何か。

**問** 第5次総合計画は平成12年より目標を1万700人とし自然増で達成できると予測したが、人口の伸びが鈍化し人口増の施策が必要としてビジョンに盛った。

**問** 目標達成に宅地造成をするのか。

**答** 策定委員会で検討し答申の中で考える。

**問** 新旧住民の協調・協働をどう考えているか。

**答** 各地区のコミュニティ

イーへ村も出かけて話し合いを持ちたい。

景観・環境保全について

**問** 環境保全の基本的考えは。

**答** 村づくり条例に沿って取組む。

**問** パノラマロードの法面・JR線路周辺などの整備が欠け景観を損ねている。

**答** パノラマロードの除草は県対応、左岸は村で委託して対応している。線路周辺については地権者にも協力して頂きJRとで対応している。今後各機関と連携を取る。

**問** サントーコーポレーションの開発について村の指導は。

**答** 平成16年にリサイクル法により破砕業の許可を取った際、またその後、周辺の環境美化に努めるよう指導している。

**問** 浄水苑周辺整備についてその後の取組みは。

**答** 平成14年に区から要望があり、塀を造ったり植栽・緑のふれあい公園を設置した。





集落営農でソバ刈り取り中（平成17年 鼠穴地区）

問 自立の村づくりには行政区の協働・協力が大きな柱となる。現在、区役員の協力で秩序ある村政が運営されているが、社会構造の変化により問

自治組織と自立の協働体制づくりには欠かせない職員の意識改革

答 自立の村づくり検討委員会の答申を待って検

問 草刈り・枝打ちとか子どもの安全を見守るなど村民協力の場面毎にグループ化をして、個人の協力・協働に感謝する意味で、すずむし荘など村営施設利用の「地域通貨」発行を考えないか。

### 指定管理者制度の導入条例は慎重に 庁内と村づくり検討委員会でしてもらう

白澤 富貴子議員

題が多くなってきた。役場職員が区の役員の補助としてサポートできないか。

問 協働には村職員が区の実態や現状を、もっと知ることが必要であるし、区への協力も必要となる。

答 区長の重責は十分理解している。区長会の要望があればいつでも対応する。

問 高速情報網の整備は進んでいるか。

答 提言を受けたので調査した。村が事業主体での取組みは経費的に難しい。民間業者では加入者が確実に見込めれば実施できるとしているので村民の意向調査を実施したい。

討する。

#### 指定管理者制度の取組み

問 指定管理者制度は自治体の経費節減と、民間活力導入などが目的で、今、管理を委託している施設は、この法律施行後3年以内に条例化し実施していくことになり、それは18年8月頃までだと思いが計画は。

答 村は、指定管理者制度に関する共通事項条例を、18年第1回議会に提案の予定。

問 現在の管理委託は7施設と聞か。

答 予算で7施設の委託費を計上しているが、今後の対応計画は更に煮詰める。

問 条例制定には、公平性・透明性・公募性を図り、施設ごと村民理解を得られるようにすることが大切。民間管理としても村民が運営に意見を言えるよう審議会を設置するか、3年くらいの期限を決めるなど、条例づくりには細部について配慮が必要。慎重な取組みを。

答 この制度を理解し、庁内はもとより、自立の村づくり検討委員会でしてもらう。



管理委託をしているセピア安曇野

米政策改革大綱

問 この改革は4歳以上の認定農家以外は補助金の

答 村民に自立の進め方がわかりにくいかもしれないが、村も努力している。最善をつくす。

問 村長が自立について各区を回って説明しているが、その後、村の自立を委員会での検討に任せ、あまり村長の自主性が見えないが。

答 村独自の集落営農をやる気があるのか。

問 これからの農業は消費者の求める安全安心の米づくりであり、消費者にも協力してもらおうよう計画するか。

答 考えてみたい。

会を統合し、委員報酬は下げる。歳入面での公共施設などの使用料や燃料費は現在検討中。

を出不さいというもので農家の大リストラ。規定に満たない農家は集落営農をと言つが、非常に難しく、中小農家はつぶれても良いと言っていると思う。村長は危機感を持っていると言つたが、支援センターを中心に村もやる気があるのか。



# 防災備蓄基地の整備が必要

## 今後検討する

矢口 八朗議員

### 村自立に対する 庁内での取組み

**問** 自立に向かって行  
政・議会ともに取組み、  
村民とともに協力しあう  
協働の村づくりが大事と  
考えるが。

**答** 自立の村づくり計画  
策定委員会に諮問し、中

問 答申が示され3月には  
本答申となるので、自立  
に向け進める。

問 村民と行政の意志疎  
通をはかる役目の職員が  
必要ではないか。

答 区の要請があればや  
る。また、答申を受け村の  
動きについては説明する。

問 地域防災計画で具体  
的な動きはあるか。

答 国・県で総合的な防  
災計画を見直し中。その  
整合をとりながら来年度  
見直す。

問 防災備蓄基地を整備  
する町村もあるが、村独  
自の防災関連施設が必要  
と考える。

答 一部ゆうあい館に備  
蓄している。基地は決め  
てないが今後検討する。

問 村民の生命・財産を  
守るために別枠でも少し  
ずつ体制を作るべきでは  
否 河川の水利用の浄水  
器設置と消火栓ホースの  
取替えを18年度で対応し  
ていく。

### 多目的文化施設の 今後の進め方は

**問** 多目的文化施設のワ



災害に備え「ゆうあい館」が備蓄している防災用品

ークシヨップ終了後に村  
が変更を考えることは問  
題ないか。また、意見集  
約をどこでするか。

答 行政の組織改革で保  
健センターの有効利用を  
図る改修が必要となり、  
調理実習室は予算別枠で

多目的文化施設の中への  
設置を考え、1月下旬の  
多目的文化施設等検討委  
員会を中心に設計者とワ  
ークシヨップ参加者と村  
の意見を加えて検討して  
いただく。

**問** 施設の検討内容が決  
まった時点で村民に知ら  
せ、問題があれば再度検  
討してほしい。

答 十二分に意見を聞い  
ていきたい。

### 子供の安全対策は

**問** 村及び近隣での不審  
者などの報告はあるか。

答 郡内では白馬・大町・  
池田で声かけや出没など  
聞か村内での報告はな  
い。

**問** 子どもと先生や親と  
の対話はできているのか  
また、子どもたちの悩み  
事は調査されているか。

答 学校でも児童・生徒  
に確認しているが大きな  
事案はない。

### 新年度の予算編成

**問** 予算の大枠と経常経  
費と投資的経費の割合、  
また依存財源と自主財源  
の割合、地方交付税の減  
は。

答 編成中だが概ね38億  
円を見込んでいます。経常  
経費85億、投資的経費15  
億を見込む。地方交付税  
は厳しい情報があるが、  
現在は地方財政計画が1  
月半ばに示されるその前  
の状況で予算編成をして  
いる。

**問** 重点事業は  
何か。

答 実施計画で  
の多目的文化施  
設などの建設と、  
医療費を中学3  
年生まで無料化  
することを考え  
ている。

**問** その財源は、

答 すべての予  
算で対応する。

**問** 自立の村づ  
くり計画策定委  
員会の中間答申  
では補助金・交  
付金の見直しで



18年度に下水道工事が見込まれる工業団地

5年目に3割、3000  
万円を削減目標としてい  
る。補助団体の理解を得  
られるのか。

答 補助団体から決算に  
関する調書の提出を受け  
内容審査、話し合いを行い  
自立計画の趣旨の理解を  
得ていきたい。

**問** 経費削減が目につき  
村民は自立の気持から離  
れてしまうのでは。西部  
山麓に農業を取入れた観  
光開発などに取組み、手  
を打つべきと思うが。

答 西部開発もこれから  
取組んでいきたい。

# 自立に向け村民の負託にどう取り組むか 住んで良かったと言われる村にする

百瀬 清議員

## 自立を進める村づくり

**問** 地方分権一括法が施行され、地方行政システム移行が図られたが、国の三位一体の改革は地方への負担の増加、押し付けが先行し真の改革とはなっていない。今後村民の負託にどのような方針で取り組むのか。

**答** 自立の村づくり策定委員会で検討している。  
**問** 自立に向け行政は徹底した情報公開をし、村民は自助努力をし、それぞれが心と力を出し合い役割を果たし、自治体間の競争に勝たねばならないと思うが。  
**答** 松川村らしさを残し、村民福祉の充実を図り、住んで良かったと言われる村にする。  
**問** 負担金は必要性・効果の観点から検証し、適正化を図り、多様化する住民ニーズに応えるため公共施設の管理運営に民間能力を活用する考えは  
**答** 策定委員会の中問答申に基づき予算に反映し、民間に任せられるものはお願いし、指定管理者制度は間違いのないように検討したい。  
**問** 自立の将来ビジョンでは、普通建設事業費を抑制してとあるが、村建設業協会の人たちへの対応は。また県への働きかけは。  
**答** 今後はますます公共事業関連は厳しくなる。県の入札制度の中では村内

## 工業団地の地権者は税金を心配している

### 1500万円まで控除対象となる

森 平蔵議員

## 上緑町工業団地



上緑町工業団地の造成計画

**問** 今議会冒頭の村長あいさつで、「期待していた企業が進出を断念した。大変残念である」といったが詳しい説明を求めたい。  
**答** 材料としての輸入製品関税税枠がいっぱいになり、輸入できないのでしばらく様子を見たいとの申し出があった。他の企業とは折衝中である。  
**問** 地権者や区の説明会

にどんな要望がでたか。  
**答** 早急な土地の購入と安全・安心な工事を要望された。  
**問** 工業団地の進入路にパノラマ道路を使用予定だが、地域高規格道路も予定しており、どう対処するか。また、工事中の車両などに対する道水路確保対策は。  
**答** 地域高規格道路は確定していないが、この計画で対応可能。道水路は仮

設で従前の機能を保ち工事をする。

**問** 土地買収の状況は。

**答** まだ開発許可が出ていないが、年内には契約の通知を出したい。

**問** 地権者は税金の心配をしている。

**答** 租税特別措置法で1500万円が控除対象。

**問** 工事の進め方は。

**答** 計画どおり造成を進め売ることができるよう誘致に努めたい。

**問** オーダーメイド方式の企業誘致で進んできたが、来てくれる企業に応じて対処されたい。第2工区の計画は。

**答** 誘致企業の関係上、時期は言えない。

**問** 団地周辺の道水路整備には配慮してほしい。北の部分は残すのか。

**答** 実施計画により施行し、今は12ヶ所を実施。

子どもたちを犯罪から守るための地域の取組み

**問** 他県で幼い少女の命が奪われる事件が発生した。子どもたちを犯罪から守る、村と学校の取組みを聞く。

**答** 学校では大町警察署の協力を得て、教職員や生徒の防犯訓練を実施した。下校時の安全パトロールもしている。他に通学路の危険箇所の安全マップを作成中である。

**問** 行政の取組みは。

**答** 青少年育成村民会議で対応し、育成活動部で子どもを守る安心の家の点検活動などを行っている。また、公用車に青色回転灯の搭載も計画。

**問** それぞれの団体が行動しているが、横の連携を考え、連絡協議会を立ち上げないか。

**答** 教育委員会を中心として行動していく。

**問** 村駐在所は不在が多くなる心配。県に働きかけないか。

**答** 実感している。大町署に、人員増と、交番への格上げを要望している。



地区の要望があれば速度制限を対応  
(南保育園付近道路)

業者への優先はできない。村内工事発注については、村内業者指名優先の方針は変わらない。

**残区画について**

問 まだ売れていない敷地の今後は。

答 平成16年15区画残があり、平成17年ルーラルの皆様の了解を得て10区画価格を下げ販売努力し、現在9区画残っている。公社は完売に努力している。

問 PRの内容は。

答 県内外の各事務所、不動産業者へパンフレットを配布し努力している。

通学路の安全対策

問 下校時に1人になった時の安全マップの作成など、危険予知運動を取組まないか。

答 通学路の現地調査をし、地図に落とす作業を現在行っている。学校関係者などと協議していきたい。

問 南保育園児の送迎道路のスピード制限はできないか。

答 速度制限は公安委員会の管轄で、地区住民の理解が得られなければ難しい。地区の要望があれば対応したい。

松川駅を複合駅舎として改修しないか  
努力してみたい

佐藤 節子議員

民に周知しないか。

答 防災無線で周知していきたい。

問 あずさ回数券をスーパーや駅付近の団体、商店でJR時間外窓口のように販売できないか。

答 若干難しいようだが、相談をしてみる。

問 駅前に「交番」設置の要望が強い。また、松川駅舎改修に地元と懇談し、公民館・物産センターなどの複合駅舎の検討はできないか。

答 努力してみたい。

子供を守る安心・安全対策の強化・充実について

問 最近子供が被害となる事件を見る時、本人や子供から不安・危険に對しメッセージが出ている。生徒や親も相談しやすい相談員として、女性相談員の配置を加えられないか。

答 中学校に男性の相談員がいる。相談は様々だが自立へのステップを支えている。女生徒は養護教諭にも相談しており、今相談員に女性を加える

松川村の観光対策

問 信濃松川駅への特急停車が実現してから、10日が過ぎたが「あずさ6号」の利用状況は。

答 12月10日から11日間で170人の利用があった。

問 特急の定期券利用や年末年始の臨時停車を村



特急が通年停車する信濃松川駅

考えはない。

問 犯罪の捜査、救出には地域からの情報は役立つ。携帯電話の接続不良地域解消のため、アンテナ設置をしてほしいが。

答 メーカーに場所を選んで村に提出してほしいとお願している。

多目的文化施設について

問 ワークショップに参加できなかった村民の声で、保健センターのトイレの改修と車いす対応の調理台を要望しているが。

答 保健センター改良時に考えたい。多目的文化施設建設に向けた実施計画の中で、他にも要望があると思うので検討していく。

問 男女共同参画室は現状では啓発活動も広がらない。条例も施行されているので施策が見えるよう多目的文化施設の中へ、また、図書館は近隣市町村の利用率を見て、適正規模を判断してほしい。

答 提案については、しっかりと検討していきたい。

# あれはどうなっているだい!?

村民の方から寄せられた疑問などにお答えします



信号機設置のため村道拡幅工事中の北細野駅西

## 北細野駅西の国道信号機はどうなったかねえ?

**問** 北細野駅西の国道147号交差点は、死亡事故など今までに何回も交通事故があり、横断歩道をつけてはもらったけど、まだ危なくて、信号機をつけてほしい。ってお願いしてきたのだが、どうなったかねえ。

**答** 県事業による信号機設置が決まり、今、村事業として3月末の完成にむけて村道改良工事中です。工事期間中は、安全対策にご協力をお願いします。

## 「特急あずさ」利用の駐車場はどうにできるだい?!

**問** 信濃松川駅に「特急あずさ」が停まるようになってうれしいが、下りも停まりや、なおありがたいがね。そばに駐車場ができるって聞いただが、どこにできるだい。

**答** 駅北側にできました。

整備は県の「コモンズ支援金」で行い、6台が無料で駐車できます。満車のときは役場駐車場をご利用ください。詳しくは村観光協会 ☎62 6930まで



信濃松川駅北の駐車場

## 編集後記



50数年振りという寒波の到来で、まるで世の中の汚れを隠すがごとく降り積もった一面の銀世界で迎えた新年です。

自然の脅威はどんなに科学が発達しても人間の力では及ばないことは、台風・地震でも見せ付けられています。

それだけに今こそ自然を大切に、未来へ継ぐ大きな役目を感じます。

今、村では新エネルギービジョンの策定に取り組んでいますが、自然エネルギーは村にも豊富にあり、実用化には、小さな一歩でも皆で工夫し、地球温暖化防止にむけて取り組むことが大事です。力を合わせて実現を図りたいものです。

### 松川村議会編集特別委員会

- 委員長 白澤富貴子
- 副委員長 矢口弦八郎
- 委員 小林 源起
- 森 平蔵
- 新村久仁男
- 百瀬 清
- 榛葉 良子
- 平林 寛也